

## 第 46期 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

### 研修終了報告書

広島大学総合科学部

田代 涼

#### 成果

CEPE で約 10ヶ月スペイン語の授業を受講。研修前の目標は Intermedio 2 に達成すること。結果として Superior 1 まで達することができました。レベル7まで到達することができました。

#### 留学先での生活

ここでは、朝9時から12時までスペイン語の授業を受講していました。レベル5に到達した際には、火曜日・木曜日は11時までの授業でした。そして、午後には文化の授業として、メキシコの歴史の授業や文学の授業、アート、ダンス、演劇の授業など、ほぼ毎日受講していました。午後は人それぞれの過ごし方をしていました。大学のスポーツチームに所属していたり、ダンスのクラブに行ったり、勉強したり、ジムに行ったり、このような自由な時間もまたスペイン語習得に大いに役立ったと思います。毎日授業に行ける環境というのは、自分のスペイン語の習得において大いに役立ったのみならず、良い生活リズムで毎日を過ごすことができたと思います。また余暇には、友人と旅行に行ったり、自分の中で最も興味を持っていた食文化にも多く触れる機会がありました。友人の家族に調理方法を教えていただくなど、自分一人ではできないことを多くの方に助けていただきました。

#### 困ったこと

生活中は、個人的にスペイン語のレベルや、人間関係に悩むことはありましたが、それ以外にメキシコという日本と全く違う環境に身を置くことに対して、自分自身はそこまで困ることはありませんでした。

しかし周りの同じ研修生の中には、ゴミが町中に溢れていること、どこのトイレも日本のような清潔なものではないこと、物乞いのいる光景などショッキングなところを見て、慣れるまでに時間がかかることもあると思います。最初の一週間は私も含めかなり多くの研修生がお腹を下したり、熱を出したりしました。初めはなれないメキシコの脂っこい食事が原因であると考えられます。しかし、おそらくメキシコ料理を食べないということは難しいと思うので、避けられないところではあると思います。その都度病院に行くか、薬でしっかり対処しましょう。ただお店の清潔さやお客の数も見ながら、信頼できる場所で食事をするように心がけました。

私が研修で一番先に直面した困難は、家探しでした。渡航前から、物件探しをしていた人がほとんどで、一週間の家探しの間に助けてくれるボランティアがいたとはいえ、自分が納得出来る家を見つけられるのかという不安がありました。その分自分から見つける努力をすることはこの一年で大切であると気付かされました。

## 最後に

この一年間のメキシコでの研修は、スペイン語だけではなく、毎日を必死に生きたことで、一人で楽しむ方法や、自分からメキシコで過ごした毎日は、常に何か新しいことが起きていました。毎日が充実して、毎日起こる何かを毎日楽しみに生きていました。人と話すことが好きになったり、自分がやらないようなことをやってみたり、細かいことを気にしなくなったり、大きく自分を変えてくれました。この一年間は、自分一人では決して達成できませんでした。ここには書ききれないほどの大勢の方に助けられました。本当に有難うございました。

